



兵庫教育大学大学院同窓会

和歌山県支部 会報

発行

兵庫教育大学
大学院同窓会
和歌山県支部

目 次

令和 4 年度県支部総会 議案承認のご報告（支部長）	-----	1
県支部研修会 井上里佳 先生（特別支援専攻 37 期生）	---	2
事務局よりおしらせ	-----	2



白浜・白良浜

令和 4 年度 和歌山県支部総会 議案承認のご報告

兵庫教育大学大学院同窓会和歌山県支部 支部長 西端幸信

残暑お見舞い申し上げます。

和歌山県支部では、8 月 21 日(日)、和歌山信愛大学様を会場（配信元）に、「会場参加」と「オンライン」、「書面確認」により、県支部総会を開催させていただきました。会場参加 11 名、オンライン参加 1 名、委任状 35 名、計 47 名となりました。支部会員数 132 名の過半数 67 名には達しませんが、当日までに皆様に書面でご確認いただき、特筆するご意見も頂かなかったことから、すべての議案をご承認いただいたと存じます。ご報告させていただきます。ありがとうございました。

総会では、支部活動の報告に加え、「**第 42 回 兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会 大阪・奈良・和歌山大会**」が、令和 5 年 8 月 5 日(土) 6 日(日)に「大阪府教育会館たかつガーデン」を会場に開催されることが報告されました。本大会は、**和歌山県支部も運営や研究発表を担当いたします**。詳細については、また改めてご報告をさせていただきたいと思っております。どうぞ、和歌山県支部の皆さまのご協力、ご参加の程、よろしくお願い申し上げます。（この封筒に案内を同封しています。）

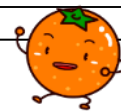
まだまだ暑さも続くようです。皆さま、ご無理のないよう、どうぞご自愛ください。ありがとうございました。

令和 4 年度 和歌山県支部研修会



「特別支援教育の現場での実践研究」

井上里佳 先生（和歌山県立有田中央高等学校：第 37 期・特別支援教育専攻）



県支部総会に引き続き、「令和 4 年度 和歌山県支部研修会」を開催いたしました。
井上里佳 先生（第 37 期・和歌山県立有田中央高等学校）が、
「**特別支援学校のチーム・ティーチングにおける ABC フレームを用いた支援目標と手立ての共有の効果**」と題して、発表を行っていただきました。

＜教員が支援目標等を共通理解する取組を行うことが重要＞

特別支援学校で、チーム・ティーチングを行う教員に、子どもの行動を分析する「ABC フレーム」を用いた話し合いを設定することで、教員間で支援目標や手立てが共通理解され、子どもの行動にも変容がもたらされたというご発表でした。

井上先生のご研究は、研究の枠組み、手続きがしっかりと構築されており、学校での検証も繰り返し行われていました。科学的な根拠をお示しいただき、お話しただことで、大変理解しやすく、興味深い発表となりました。



最後には、和歌山県の高等学校における特別支援の現状、取組の様子もお伝えいただきました。

会場参加の先生方からは、「和歌山県内でも、特別な支援を必要とする子どもの比率が大きくなる中で、井上先生の実践研究が広く認知され、子どもたちの学びを支えることを望みます。」や、Zoom 参加の現役院生からは、「教員間の普段のコミュニケーションが、チーム・ティーチングにどう影響するのか。」などのご質問がありました。質疑は予定の時間を超え、盛り上がりを見せました。



最後に、井上先生から、「このような発表の場を設けていただきありがとうございます。さらに自身の研究を進め、和歌山県教育に貢献していきたいと改めて強く感じました。和歌山県支部の皆さまに感謝いたします。」とのご挨拶がありました。

※ご研究の詳細については、
和歌山県立有田中央高等学校 井上先生ご本人にお問い合わせください。



★事務局よりおしらせ★

修士論文や学校等での実践研究を、「県支部研修会」「三支部研修会」「全国大会」で報告、発表してみませんか。県支部から、業績として所属校や教育委員会 等に報告させていただきます。QR コードを読み取り、事務局までお気軽にメールください。
引き続き、「支部会報」に関するご意見、ご感想、皆さまからのご投稿もお待ちしております。

事務局メールアドレス d18254h@hyogo-u.ac.jp